

# 富士吉田市【山梨県】 歴史文化基本構想

■策定年度：平成31年3月 ■人口：48,989人 ■市域面積：122km<sup>2</sup>  
■担当課：富士吉田市まちづくり戦略課（平成31年3月現在）



富士吉田市は、富士山を中心とした豊かな自然環境に恵まれ、古くから富士山信仰のまちとして栄えてきた。富士山と密接な関係を持つ文化財を適切に保存し、次世代へ継承をしていくとともに、歴史文化の魅力を活用して、地域活性化を図っていく。本構想では、「富士山信仰と寄り添うまち」をテーマとし、5つの関連文化財群と7つの文化財保存活用区域を設定している。

## 5 歴史文化を表す つのキーワード

富士山、吉田口登山道、北口本宮富士浅間神社と  
御師町、織物産業、水

### 課題

- ・御師のまち並みなどの文化財の消失
- ・文化財がもつ複合的な価値の保存
- ・文化財に関わる担い手の減少

### 保存活用方針

- ・調査研究の充実及び保存整備の推進
- ・地域の歴史文化を活かしたまちづくりの推進
- ・保存・活用のための運営体制等の整備

## 保存活用のための取り組み

### 富士吉田市歴史民俗博物館の リニューアル

「富士山－信仰の対象と芸術の源泉－」として世界文化遺産に登録された富士山信仰を中心に富士吉田市の歴史文化に関連する展示を紹介。プロジェクション・マッピング等の技術を活用し、誰もが親しみの持てる「ふじさんミュージアム」としてリニューアルを行った。



### ボランティアガイドの育成

市民や観光客に地域の魅力をわかりやすく伝え、各地域に所在する資源や展示施設へ興味を喚起し回遊を促すための仕組みづくりとして、ボランティアガイドの養成を検討する。



### ふじさんミュージアムにおける 文化財の公開活用

ふじさんミュージアムでは、富士山に関わる企画展の開催のほか、「富士山学」と題した富士山の自然や信仰等を学ぶ講座や体験型ワークショップの開催等、誰もが親しみ、楽しく学べるイベントを行い、地域の歴史文化の普及啓発を行っている。



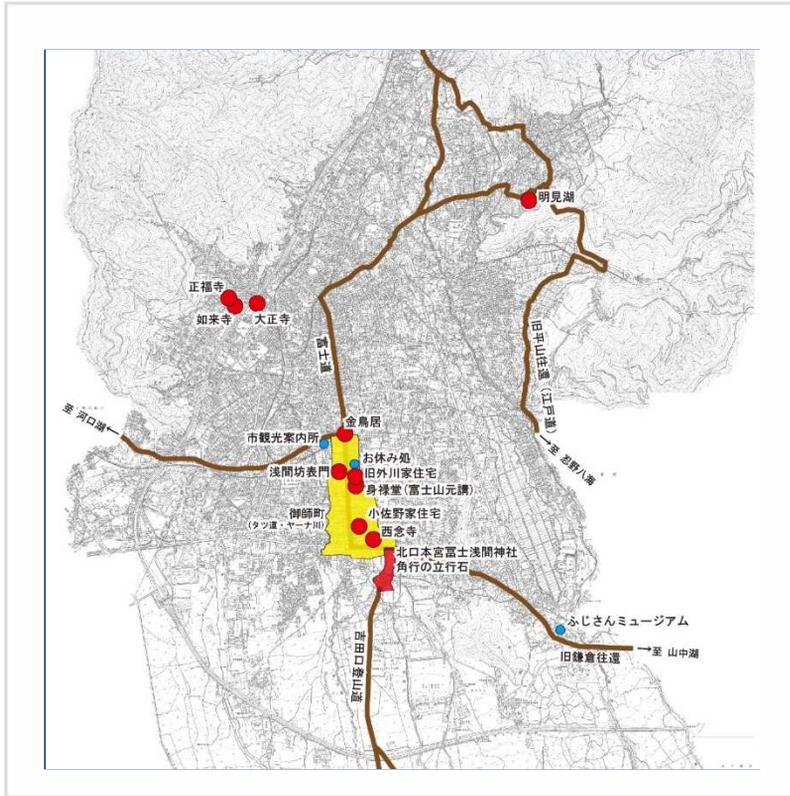
### 回遊ルートの整備

国道139号（富士道）沿い一帯は、御師の家が並ぶ地区として知られている。誘導サインや案内看板の整備等を行い、御師の家だけでなく、地区全体で回遊できるルートの整備を行い、世界文化遺産としての価値を一層高めていく。





## 関連文化財群



富士吉田市の歴史文化には、富士山の麓という厳しい自然環境にありながら、たくましく生き抜く人々の活動が2つの側面で見られます。一つは、富士講の隆盛とともに育まれてきた富士山信仰の歴史文化。もう一つは、噴火等の自然災害を避けながら、独自性のある豊かな暮らしを守り続けた人々の生活における歴史文化です。

### ストーリー

- 1 北口本宮と御師町が支える巡礼文化
- 2 吉田口登山道にみる日本固有の信仰形態
- 3 富士山信仰を守り継ぐ祭礼文化
- 4 厳しい自然を生きる人々の生活と産業
- 5 山・水とともに生きる人々の智恵と祈り



## 策定後の成果（見込まれる効果）

### ① 地域住民の意識づくり

地域住民に地区の魅力をわかりやすく伝えることで、各地区に所在する資源や展示施設へ興味を喚起し、住民が積極的に参加できる仕組みをつくり、文化財の保存活用に関する意識とまちづくりへの参加意欲を高めていく。



### ② 歴史的な街並み景観の保全と形成

かつて約90件あった御師の家は現在約20件までに減少している。さらに、後継者不足等に伴い、文化財指定等を受けていない歴史的建造物が消失していく危機に直面している。制度や組織づくりの強化を進め、歴史的な街並み景観の保全と形成を図る。



### ③ 歴史文化を活かした地域の活性化

文化財の保存活用と産業や観光等の振興、地域活動、学校教育などと連携が図られ、多様な地域文化の継承と地域の魅力づくりが行われることで、市の知名度・認知度向上による交流の活性化が促され、地域の活性化が図られる。

